

令和5年度 北九州市立一枝小学校学校経営方針

北九州市立一枝小学校

校長 吉武 義明

●学校スローガン 子どもが進んで学び、思いやりをもって生き生きと活動する学校

『満足度100%』の学校

目指す学校像 ～信頼される学校～

- ・学校に行くのが楽しいと思える学校
- ・子どもが意欲的に学ぶ学習が展開されている学校
- ・安心して通う（通わせる）ことのできる学校

目指す教職員像 ～信頼される教職員像～

- ・豊かな人間性とあたたかな愛情をもった教職員
- ・学ぶ楽しさを求め、自己研鑽に努める教職員
- ・高い危機意識と危機対応をもつ教職員

目指す子ども像

- 学校教育目標 「一人一人がよさや可能性を発揮し自立する子どもの育成」
保護者や地域に信頼され、子どもも教職員も誇りのもてる学校づくりの推進

学校に行くのが楽しいと思える学校

- 良好な人間関係→温かみのある言動、児童相互の関係づくり（道徳科、特別活動の充実）
- はきはきとしたあいさつ→笑顔で、相手を見て、はきはきと
- きまりを守る意識→きまりを守る意義や価値の指導を
- 悩みや願いを伝えられる雰囲気→子どもの言葉、気持ちを傾聴し寄り添う姿勢を
- 先生と児童との適切な距離感→親しき仲にも礼儀あり 言葉遣い
- 必要に応じ厳しく指導する場面も→子どもに指導内容を理解させ、納得させる必要がある
- 3名人の育成→あいさつ名人・そうじ名人・あったか言葉名人
- 目的を明確にした行事や活動→一人一人に活躍の場を自身の所属意識を高める
- 子どもの個性・特性を伸ばしながら、「居場所」としての学校をつくる
- 70周年記念行事への取組→全校挙げてお祝い

子どもが意欲的に学ぶ学習が展開されている学校

- 楽しい授業の構築→「個別最適な学び」「協働的な学び」「タブレットの積極的な活用」
- 意欲がわく評価を→評価とは「褒めること」が基本
 - ・褒める内容、価値付け方、課題の提示
- 学習規律の大切さ→発表の仕方、板書、ノート、聴き方・話し方等、統一できるところは統一する
- 読書習慣の定着→図書室の積極的な利用、図書環境の充実、暗唱ブック「ひまわり」の活用
- 朝自習時間の確保と内容の充実（月・水・金は全校で統一した取組を実施）
- 専科・持合い授業の推進→専門性を生かす、複数の目で児童を見る
- 体育科の授業力向上→めあての設定、準備運動の定着、ホワイトボードの活用など
- 体力向上のための取組（なわとび集会、持久走大会 等）の実施

安心して通う（通わせる）ことのできる学校

- いじめがない→いじめの未然防止、早期発見、早期対応、解消までの継続した対応
 - ・いじめアンケートの定期的な実施
- 信頼できる教職員→危機管理意識が高い教職員集団
 - ・どんなに小さな事でも、管理職や学年（近接学年）に必ず、報告・連絡・相談を
 - ・問題事象にはチームで対応（一人で悩まない）
 - ・保護者との連携・・・提出物や保護者からの連絡には、確実に目を通す。連絡帳よりも電話を、電話よりも家庭訪問を。
 - ・給食、掃除は、子どもとともに。時間は、大人が率先して守る
 - ・教室はきれいで居心地のよい場所に・・・掲示物、机上の整理、ゴミの散乱等）に注意
- 多様性に対応できる→人権意識を高くもつこと、特別支援教育の重要性への理解
 - ・道徳教育・人権教育の推進
 - ・特別支援教育の一層の充実
- けが・事故等の処置及び対応。けがの処置を優先、首から上、加害児童がいるけがは原則として医療機関へ
 - ・全体への報告と今後の対策協議
- 不祥事防止の徹底→個人情報取扱い、体罰、不適切な言動、飲酒運転、セクハラ・パワハラ等の禁止
- ※コロナ感染症拡大防止のための基本的対策の継続

本年度の重点

《学力向上》

（毎時間の授業における『学びの質を高める取組』を前提に）

- ・朝の時間の有効活用
- ・給食時間準備中の有効活用
- ・ひまわり学習塾の再開